

大塚グループのマテリアリティと主に関連するSDGs

マテリアリティ		社会課題	目標	活動	主に関連するSDGs
社会	健康	<ul style="list-style-type: none"> ●満たされていない医療・健康ニーズの存在 ●感染症の蔓延 ●栄養ニーズの存在 ●高齢化に伴う課題の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンメット・ニーズ解決への貢献 ●結核の撲滅 ●健康なくらしの実現のための仕組み作り ●健康寿命の延伸 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンメット・ニーズ解決に向けた研究開発促進 ●抗結核薬の研究開発と薬剤アクセスの向上 ●運動・栄養等を主テーマとした人々の健康維持・向上の支援、啓発活動 ●パートナーシップ強化による課題解決促進 	   
	人材	<ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンティーズム* ●多様化への未対応 <p>*出社しているにも関わらず、心身の状態の悪さから生産性が上がらない状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●創造意欲を喚起する企業風土の醸成 ●従業員エンゲージメントの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●人材育成 ●ダイバーシティ推進 ●健康経営 	   
	品質	<ul style="list-style-type: none"> ●持続可能性を損なう消費・生産 	<ul style="list-style-type: none"> ●ステークホルダーの信頼の獲得 ●バリューチェーン全ての段階での持続可能性の追求 ●安心・安全のための品質保証体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な調達と製品設計 ●徹底した品質管理と安定供給 ●責任ある販促活動と情報提供 ●ステークホルダーとのコミュニケーションの深化 ●「消費者志向経営」の推進 	
環境	カーボンニュートラル ※1	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化 	<ul style="list-style-type: none"> ●2028年目標：CO2排出量2017年比50%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ●バリューチェーン全体のCO₂排出量削減 	
	サーキュラーエコノミー ※2	<ul style="list-style-type: none"> ●環境負荷の増大 	<ul style="list-style-type: none"> ●2028年目標：廃棄物の単純焼却と埋立を2019年比50%削減 ●2030年目標：リサイクルPET及び植物由来PET使用割合100% 	<ul style="list-style-type: none"> ●資源効率向上による環境負荷軽減 ●社会・地球共に持続可能な状態を目指した事業活動の推進 	   
	ウォーターニュートラル ※3	<ul style="list-style-type: none"> ●水リスクによる淡水の利用可能量減少 	<ul style="list-style-type: none"> ●2028年目標：工場の水管理プログラムをグローバル全拠点へ展開 ●2028年目標：水ストレス地域の事業拠点に対し、水利用戦略立案 	<ul style="list-style-type: none"> ●水リスクの把握 ●水資源の管理と有効利用 	 
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ●脆弱なガバナンス体制 ●社会変化によって生じるリスク 	<ul style="list-style-type: none"> ●長期的な企業価値向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●コーポレート・ガバナンスの強化 ●コンプライアンスの徹底 ●リスク把握、評価、管理 		

※1 持続可能なエネルギー利用、※2 持続可能な原材料利用、※3 持続可能な水資源利用